



第4回元気スイッチon!! あつまれ!あいちのじどうかん

ありのままの子どもを感じよう
～向き合う、寄り添う、受け止める～

第4回実行委員会議事録

H26年8月21日(木)

14:00～17:00

愛知県児童総合センター

(長久手市モリコロパーク内)

出席者: 鈴木節子、竹内逸子、鈴木美紀、盛本みすい、秦結香、邨瀬知香子、野田しのぶ、渡辺宏明、野々垣実里、牛田富江、安藤智人

事務局: 上野裕、阪野大介、宮崎恵梨、高阪麻子

プログラム

14:00 開会・あいさつ

14:10 新委員紹介
アイスブレイク

14:20 進捗状況報告

14:30 部会

16:45 全体シェア

16:55 まとめ

部会 1 講演会部会

担当:(岩倉市 岡部節美)
稲沢市 鈴木節子

原稿の締め切り日が8月24日(日)ということで先生も新しい事業立ち上げでお忙しいので、テーマ、募集要項を提示しようということに決まり3人で話し合いをする。

写真、プロフィールは今年1月の研修に使用した物を佐野先生に送付し確認をしていただく。

募集要項 150字 プロフィール250字 程度に収める。

開会式、閉会式について確認(依頼は上野さん)

佐野先生への講師依頼(依頼は上野さん)

「3人よれば文殊の知恵」! 佐野先生から原稿が届きホッと安心。



真剣に
そして
楽しく
実施中



部会 2 広報・情報交換会部会

担当:津島市 牛田富江
豊橋市 安藤智人
(北名古屋市 十良裕樹)

・部会でやらなくてはならないこととスケジュールの確認。

・十良委員が作成したアピールカード募集案内について文章やレイアウトのチェック。

アピールカードの展示方法について検討。今までのものをベースに作成。ベースカラーは黄緑。カードをつなぐラインはランダムカラーにする。展示場所は全体会の会場。

・部会内の担当事項を決定。

アピールカード:牛田。当日資料:安藤。報告書:十良。募集案内:阪野

・情報交換会のやり方について...できるだけたくさんの人と交流ができることをポイントに。

①全員に10~20程度の質問を書いたシートを渡す。

②その質問に合う人を探して名刺を集める。

③質問をフルコンプする もしくは 名刺の電話番号等で抽選

など大枠を設定。



部会3 分科会部会

担当:長久手市 竹内逸子、清須市 鈴木美紀
名古屋市 渡辺宏明、清須市 野々垣実里
一宮市 野田しのぶ、弥富市 邨瀬知香子
半田市 盛本みすい、弥富市 秦結香

第1分科会【魅力ある児童館】

タイトルと項説明文と内容の見直しと訂正。
事例発表者とのこれからのアポについて確認。

第2分科会【親支援】

決定した事柄を企画書に記入
アドバイザーのプロフィールについて
→以前の研修のプロフィールを入手し、先生に確認する。
(当日の配布資料に入るまたは分科会レジュメを作る)
当日のシナリオについて
→だれがどこを話すか次回決定し、
各自作って再検討する。

第3分科会【子どもの自己肯定感】

担当者、タイトル、項説明文の決定
内容の変更、ワールドカフェ方式で進める
おおまかな進め方の話し合い
肯定感とは?さまざまな角度から
自分なりに調べてくる。
鬼頭先生(講師)と連絡を取り進めていく。

第4分科会【遊びの本質】

内容、最終的な落としどころの確認。
(分科会でこんな話したいという思いの共有)
→遊びの中での子どもへの援助方法、働きかけ
ではなく、その前段階にあるのが遊びの大切さでは
ないかと思い、遊びの大切さについて深めていく。
細かな内容については、9/11に講師と打ち合わせを行い組み立てていく。
分科会の流れについて



アイスブレイク①(グループで座ってできるもの)→
グループワーク→休憩→
アイスブレイク②(参加者全体でできるもの)→
アドバイザーの話→まとめ
分科会で行うアイスブレイク
(グループで・参加者全体でできるもの)を調べる。
→9/11の打ち合わせまでに、
上記のアイスブレイクを調べ持ち寄る。

実行委員紹介(ラスト)



愛知県児童総合センター
宮崎 恵梨
よろしくお願いします



今日のアイスブレイク

「わ」

全員で円をつくり、目をつぶって両手を出してもらおう。進行者は全員の手を適当に繋ぐ。

目を開け、絡んでいる手を、手を繋いだまま解き、1つの円にする。

絡んだ腕を解いていく中で、声を掛け合ったり、指示に従ったりする場面が出てくるので、相手に合わせたりコミュニケーションを取ることができる。

子どもたちとよく遊ぶことがあると思いますが、大人だけでやってみても盛り上がります。実行委員会のようなチームで、この活動をおこなうことは、みんなでひとつの目標に向かっていくという連帯感を生みだします。

振り返って

夏休みの忙しい中、実行委員会が開催されました。ようやく募集要項に掲載するデータが整いました。月に一度の委員会の中で進めきれない分は、担当同士で連絡を取り合ったり、各自で勉強したりしています。しかし、その分新しいことを吸収したり、お互い仲良くなったりして、この研修会を開催するうえで、もっとも勉強になるのは委員さん自身かもしれません。それほど工夫して作り上げたこの大会は、きっと多くの児童厚生員にとって「よかった」と言っていただけの内容になっていると思います。たくさんの参加者が集まることを期待して、あと2か月、がんばりましょう。

次回開催日

平成26年9月25日(木)

14:00～17:00

愛知県児童総合センター
3階研修室

「内容検討、詳細を決める」